

平成30年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	学び合い人と文化を育むまち
基本方針	生涯を通じて学び合うまち
基本施策名	スポーツ活動の充実

	所属	職名	氏名
作成者	総合体育館建設推進課	課長	岩淵 宗明
評価者	財政部	部長	百瀬 秀樹

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	用地取得について一部地権者と交渉が難航しし約5カ月遅れ11月にすべて買収が完了した。このことから、全体のスケジュールがスライドし、体育館の完成は、令和3年10月を目標としている。
基本方針 (目指すべき方向性)	誰もがスポーツを楽しめる環境を整備し、健康と生きがいがいづくりに取り組める活力にあふれたまちを目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H28	H29	H30	達成率	進捗状況	所管課
県・国レベルのスポーツ大会の開催件数	件		38	40		36	90	停滞	生涯学習課
体育施設利用者数	人		666,494	700,000		746,512	106.6	順調	生涯学習課

施策指標の進捗状況と分析	令和3年10月のしゅん工を目標に、新総合体育館建設に向け、工事発注に係る手続きの準備を進めている。来年度5月上旬に、総合評価落札方式による入札を行い、施工については、設計協力付一括発注方式により工事を発注予定している。
--------------	---

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費						事務事業の状況					重点化
				H28	H29	H30	H31	R 2	合計	事業区分	新/継	終期	方向性	正規職員数	
1	0108511	新総合体育館建設事業	総合体育館建設推進係			151,933,944	1,303,255,000	2,176,800,000	3,631,988,944	ハード(継続)	継続	令和3	事業効果を高めるための方策を検討	2.5	○
合計						151,933,944	1,303,255,000	2,176,800,000	3,631,988,944						

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	一部地権者との用地交渉が難航し、用地の取得に不測の日数を要したため、今年度発注した設計業務委託は翌年度までの繰り越しとなったが、体育館建設に向け、予定事業費内での完成を目指す。
重点化事務事業の考え方	総合体育館としての機能ばかりでなく、安曇野市南部の防災拠点としての機能も併せ持つ重要拠点として整備を行う。
縮減・廃止事務事業の考え方	新総合体育館整備基本計画や基本設計の成果を反映し、実施設計を発注した。今後計画とおり事業を進捗し、令和3年10月のしゅん工を目指している。このことから、縮減・廃止は行わない。
総合評価(次年度へ向けた課題の抽出含)	東京オリンピック等の建築需要が飽和状況の中、コスト縮減・工期短縮また品質の確保を目指し、設計協力付施工一括発注方式により発注を行い令和3年10月のしゅん工を目指す。